第152回 長崎大学FD実施報告書(平成29年4月24日提出)

- 1. 題 目:長崎大学新任教職員ガイダンス
- 2. 日 時: 平成29年4月4日(火)13:00~15:05
- 3. 場 所: 文教キャンパス 事務局3階 第2会議室
- 4. 主 催:教務委員会

企画・実施: 評価・FD 教育改善専門部会

- 5. 対象: 平成28年5月以降に長崎大学に新たに赴任した教職員
- 6. 長崎大学FDに関する指針第二項への該当について【複数選択可】 (該当するものに○を記入すること)
 - [](1) 教員の教育活動に関するもの
 - [](2) カリキュラムの改善に関するもの
 - [](3) 教育の組織的改善に関するもの
 - [](4) 入学者選抜方法の改善に関するもの
 - 「](5) その他教育改善及び入学者選抜方法の改善に関するもの
- 7. 今回のFDの趣旨・意義(6. に関連した形で記述すること)

平成28年5月以降に長崎大学に新たに赴任した教職員に対し,長崎大学が目指す教育,研究等に関する事項について説明し,今後の教育・業務に役立てる。

- 8. プログラム構成 [題目・担当講師]
- 12:45~13:00 受付(事務局3階第2会議室)
- 13:00~13:05 開会の挨拶 教学担当理事
- 13:05~13:45 「新任教職員へのメッセージ~長崎大学の課題と展望~」片峰茂 学長
- 13:45~14:00 質疑応答
- 14:00~14:20 「教職員の組織と勤務時間と情報セキュリティ」 河野茂 理事(総務担当)
- 14:20~14:25 質疑応答
- 14:25~14:45 「高大接続改革における入学者選抜について」 星野由雅 理事(教学担当)
- 14:45~14:50 質疑応答

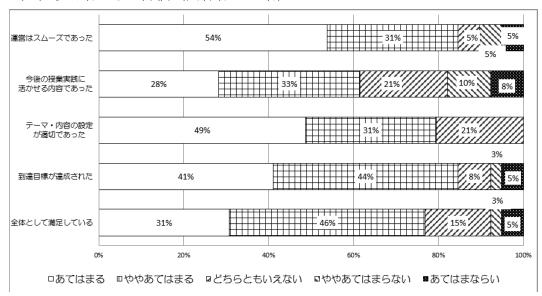
14:50~14:55 閉会の挨拶 (大学教育イノベーションセンター) 14:55~15:05 集合写真撮影

9. 参加者:28名(受講証発行対象者:28名) (内訳)

所 属	人 数
多文化社会学部	2
教育学部	3
経済学部	4
工学研究科	1
水産・環境科学総合研究科(環境)	1
医歯薬学総合研究科 (医系)	2
医歯薬学総合研究科 (保系)	3
医歯薬学総合研究科 (歯系)	4
医歯薬学総合研究科 (薬系)	1
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	1
大学教育イノベーションセンター	2
総務部	1
財務部	1
施設部	1
学生支援部	1
計	28

10. 実施したFDの成果等

(1) 参加者からの評価(回答者:15名)



- ●今回のプログラムについて、お気づきの点・ご意見・ご感想をご記入下さい。
- ・ 長崎大学が目指す点と社会,学生が本学に求めるニーズの同一点,相違点の分析が必要である。大学は,共感の得られる課題を解決していくべきである。
- 内容は大変すばらしかったと思います。トイレ休憩をとって欲しかったです。
- ・ 今後に生かすことのできる内容でした。ありがとうございました。
- 長崎大学の今を知ることができて、とても有意義でした。
- ・ 質問4.事務職なので「あてはまらない」を選びました。
- ・ 学長や理事という普段あまり接する機会のない先生方のお話を間近で聴ける貴重な機会でした。欲を 言えば学内の施設の説明や福利厚生についても聴きたかったです。
- ・ 本日は有意義な内容をありがとうございました。研究の方向性や教育の重要性と、長崎大学で求められるそれぞれの現状を再認識することができました。
- 大変有意義でした。
- 自身が学生の教育について何を重視すべきか再考されられました。
- 興味深く聞くことができました。
- とてもスムーズな運営でした。また参加したいと思います。
- ●長崎大学 FD としてとりあげるテーマ・内容についてご意見・ご要望をご記入下さい。
- ・ アクティブラーニングに関しては、学生からの意見の集約が必要だと考える。これまで実践してきて 学生のどのような力になったかを評価するのが大切かと思う。高大接続における入試改革は、高校生 に早期に進路決定を求めるものであると思う。よって、大学も転科や学部変更の良いシステムを構築 する必要があると考える。

- ・ Active learning 実施の実際についてのFD があれば良いと思います。
- 科研費について
- ・ 障害のある学生への接し方について
- ・ 初めての地で不安ゆえ、若手の教員が交流できるような機会があれば大変ありがたく存じます。
- ・ 今回も実施されたセキュリティに関する内容は、今後も取り上げていただきたいです。
- ・ 自分は教育関連に関しての業務は久しぶりであるためそういった関連には興味を持っています。

(2)総 括(10(1)を踏まえFD全体の総括を記述する)

長崎大学新任教職員ガイダンスが第152回長崎大学FDとして4月4日に実施された。 新任の教職員にとって有意義な研修だったといえる。片峰学長は、「長崎大学は何を目指すのか」を、大学をめぐる社会の変容のなかで語られた。多様性を尊重し、学生、社会等のステークホルダーの存在を意識しつつ、国立大学法人という大学の自立と個性を基盤とする制度設計を活用して、大胆かつしなやかに変更する社会のニーズに応えること、教職員がその意識を共有することの重要性を力説された。河野理事は教職員の組織、裁量労働制等の勤務体制、情報セキュリティについて、その理解と遵守の重要性を伝えられた。星野理事は高大接続改革を含めて長崎大学の入試のあり方について解説された。

短い時間でかなり内容の多い FD であったが、資料も充実しており、新任教職員に対する 良い動機付けになったことがフィードバックからも伺える。新任教職員であったこともあ り質疑は活発でなかったが、「若手の教員が交流できるような機会があれば良い」という意 見もあることから、FD を利用して、新任の教職員が意見交換をできるような場をつくると 良いと思われた。ガイダンス終了後に意見交換会を企画するのが良いかもしれない。

また,今回の内容は新任教職員だけに聞かせるだけではもったいない FD の内容に思えた。 ビデオ収録されており全教職員に周知するのも一案と考える。

(文責:門司和彦 熱帯医学・グローバルヘルス研究科・教授)

11. 実施代表者の連絡先

教務委員会委員長 星野 由雅

e-mail: hoshino@nagasaki-u.ac.jp

電 話: 内線 2003

12. 申請者の連絡先

学生支援部教育支援課教養教育班

主査 寺川 美穂

e-mail:fd@ml.nagasaki-u.ac.jp 電話:内線2077